

2021年3月期

第2四半期決算説明資料

2020年11月9日

TOWA株式会社

主な説明内容

- 1. 2021年3月期 上期実績
- 2. 2021年3月期 通期予想
- 3. TOPICS



主な説明内容

- 1. 2021年3月期 上期実績
- 2. 2021年3月期 通期予想
- 3. TOPICS



2021年3月期 上期サマリー

- ▶ 台湾・中国OSATからの受注が堅調。
 - ・5G関連需要の増加などから台湾OSAT向けの受注が7月以降急回復。
 - ・中国の半導体国産化の加速やスマホメーカーの増産などが受注をけん引。
- ▶ 収益性が改善し上期利益は業績予想を上回る。
 - ・用途拡大などによりコンプレッション金型・装置の受注・売上が引き続き好調。
 - ・生産方式見直しにより在庫の削減の結果、評価損が減少。
- ▶ 9月単月の受注高は約3年ぶりに30億を超える。

米国政府による中国企業への規制強化や新型コロナウイルス感染症の影響は懸念されるものの、足元は堅調で顧客からの引き合いも強い。



2021年3月期 上期連結業績結果(前年比)

(単位:億円)

	2020/3期 上期実績	2021/3期 上期実績	増減額	前年比	2021/3期 上期業績予想 (ご参考)	予想比
売 上 高	116.4	128.7	+ 12.3	+ 10.5%	140.0	& 8.1 %
営業利益 (営業利益率)	▲ 1.8 (▲1.6%)	10.9 (8.5%)	+ 12.7	-	7.8 (5.6%)	+ 39.5%
経常利益	▲ 2.8	12.3	+ 15.1	-	7.8	+ 57.4%
当期純利益	▲ 2.0	8.9	+ 10.9	-	5.3	+ 67.8%

※当期純利益=親会社株主に帰属する当期純利益

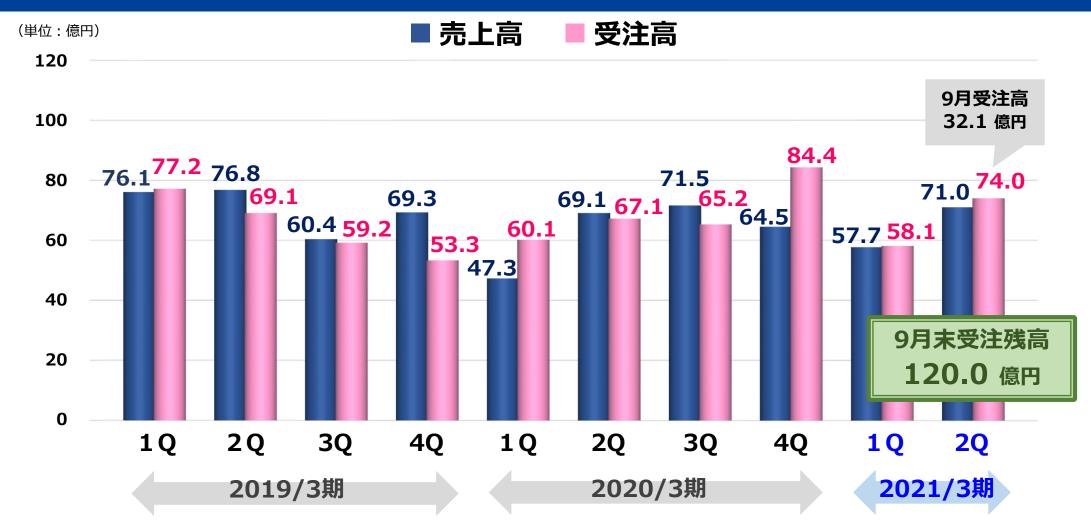


2021年3月期 上期セグメント別売上高 (前年比)

							2020/3期 上期実績	2021/3期 上期実績	増減額	前年比
売		上		高	116.4	128.7	+ 12.3	+ 10.5%		
半	導	体	事	業	74.7	87.4	+ 12.7	+ 17.0%		
化	成	品	事	業	7.9	8.1	+ 0.2	+ 3.6%		
新		事		業	24.3	26.2	+ 1.9	+ 7.8%		
レ	_	ザ	事	業	9.5	7.0	▲ 2.5	▲ 25.9 %		

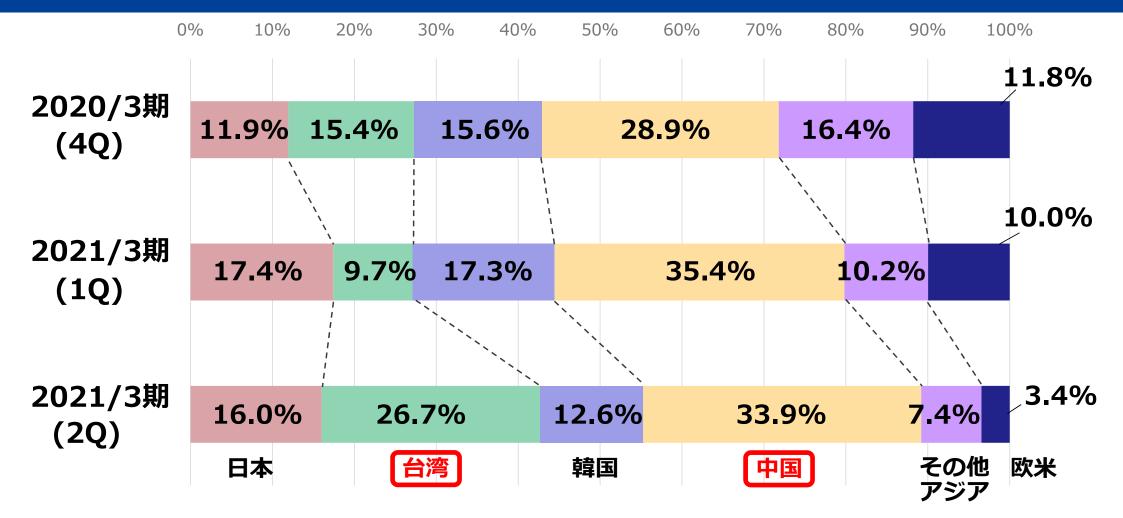


受注・売上高の推移



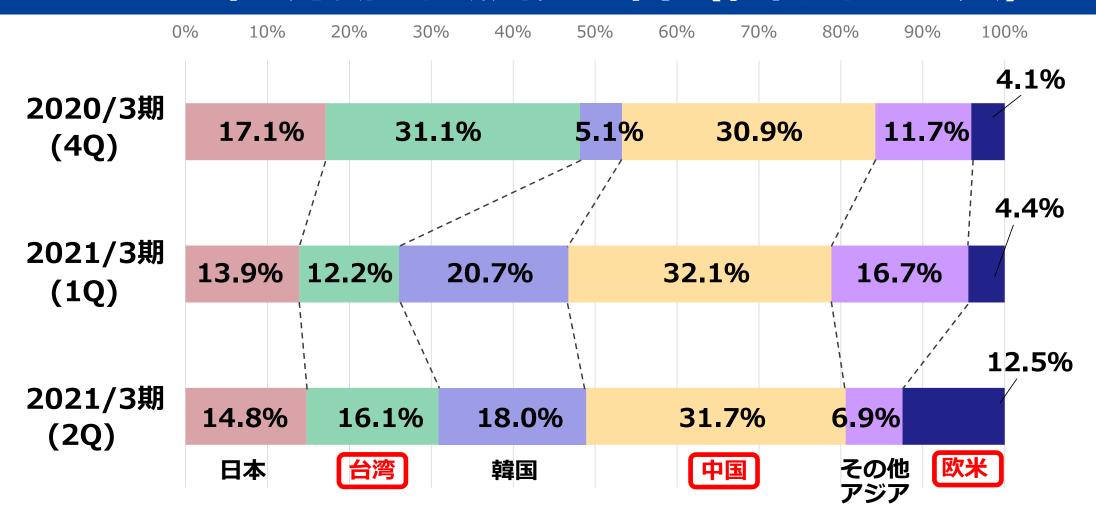


2021年3月期 地域別受注高(仕向地ベース)



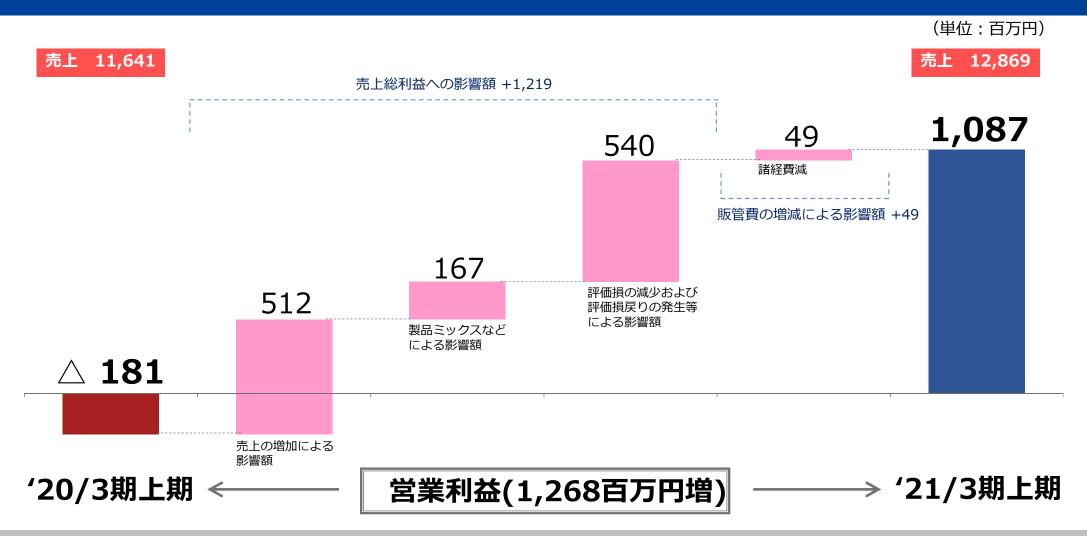


2021年3月期 地域別売上高(仕向地ベース)





2021年3月期上期 連結営業利益 増減要因分析(対前年同期)





主な説明内容

1. 2021年3月期 上期実績

2. 2021年3月期 通期予想

3. TOPICS



2021年3月期 通期 連結業績予想(修正)

	2021/3期 上期実績	2021/3期 下期修正予想 (11/9公表)	2021/3期 通期修正予想 (11/9公表)	2020/3期 通期実績	(単位:億円) 前年比
売上高	128.7	139.0	267.7	252.5	+ 15.2 (+6.0%)
営業利益	10.9	12.2 (8.8%)	23.1 (8.6%)	8.1 (3.2%)	+15.0 (+184.4%)
経常利益	12.3	12.2	24.5	6.5	+ 18.0 (+278.7%)
当期純利益	8.9	8.3	17.2	3.7	+13.5 (+366.4%)

[※]当期純利益=親会社株主に帰属する当期純利益



2021年3月期 セグメント別売上高計画(修正)

						(単位:億円)			
					2021/3期 上期実績	2021/3期 下期修正予想 (11/9公表)	2021/3期 通期修正予想 (11/9公表)	2020/3期 通期実績	前年比
売		上		高	128.7	139.0	267.7	252.5	+15.2 (+6.0%)
半	導	体	事	業	87.4	98.0	185.4	170.7	+14.7 (+8.6%)
化	成	品	事	業	8.1	8.0	16.1	16.1	±0 (-)
新		事		業	26.2	24.8	51.0	48.4	+2.6 (+5.4%)
レ	_	ザ	事	業	7.0	8.2	15.2	17.3	▲2.1 (▲ 12.1%)



/光法、连四)

2021年3月期 配当計画

| 2020/3期 |実績 期初計画 修正予想 (11/9公表) | 16.0円 | 16.0円

※配当方針「安定・継続配当」に基づき、16.0円で変更なし。 なお、中間配当は見送りとさせていただきました。



主な説明内容

1. 2021年3月期 上期実績

2. 2021年3月期 通期予想

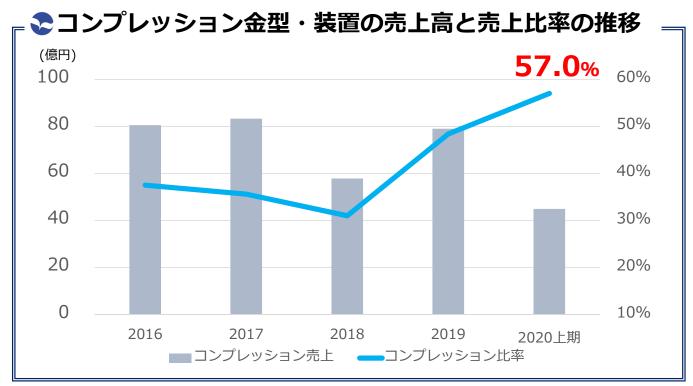
3. TOPICS



TOWA独自のコンプレッション技術

コンプレッション装置の用途が拡大!!

コンプレッション技術の優位性(低圧成形、低背化、モジュール対応可能など) により、対象となるデバイスが増加。今後ますます拡大を予想。

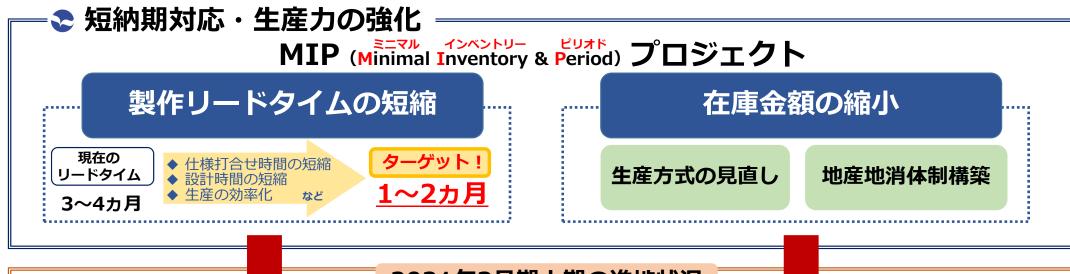






生産体制の強化

リードタイム短縮と在庫金額の縮小を目指す



2021年3月期上期の進捗状況

✓ 主要機種のリードタイム 2ヵ月を実現!! プロジェクト開始前と比較し

- ✓ 棚卸資産を約3割削減!!
- ✓ 標準仕様部品の在庫を約8割削減!!※

※主要機種のみ



ミドルレンジ・ローエンド製品向け新製品

新たなトランスファ装置(SSN1240)の開発完了

中国グループ会社で設計・生産・販売までを一貫して行う装置の開発を完了。

TOWA蘇州工場にて、初号機の 出荷式典を10月22日に開催!!



MRSプロジェクト

- ▶ 中国ローカルOSATをターゲットとして、マニュアル生産ラインから 自動機生産ラインへの切り替えを目的としたプロジェクト
- ▶ パワー系ディスクリート半導体などのローエンド、ミドルレンジ製品向けに低価格な1プレスの専用モールド装置・金型を新規開発!



主な設備投資の状況

- 中国南通市にめっき、焼入れ処理が可能 な新工場を建設中。
- 医療機器の製造が可能なクリーンルーム を増設。

2021/3期 2021/3期 上期実績 通期計画 設備投資額 10.8_{億円} 40.5_{億円}

東和半導体設備(南通)新工場 (金型生産・めっき設備)



完成イメージ



建設中の状況(2021年2月竣工予定)

バンディック西工場 (クリーンルーム)



2020年8月より稼働開始



お知らせ

▼ TEXAS INSTRUMENTS 米国本社より2019年度 Supplier Excellence Awardを受賞いたしました。 (約12,000社あるサプライヤーから17社が受賞)



- 日本政府国際広報ウェブサイトで、当社のコンプレッション技術が紹介されました。
 - ▶ 日本政府国際広報ウェブサイト内「Moving Forward」Semiconductor Technologyで紹介されました。 https://www.japan.go.jp/technology/moving forward/
 - ※当社紹介動画(Compression Molding)は下記リンク先からもご覧いただけます。 https://www.youtube.com/watch?v=efXw7thO3Zc&feature=emb_title



ガバナンスの向上とSDGsへの取組み

さらなる企業価値の向上

コーポレート・ガバナンスの強化

- ・社外取締役を1名増員し監査体制と社外役員比率を向上
- ・女性取締役の就任により取締役会の多様性を確保



議決権の電子行使プラットフォームを導入 (2020年6月開催 定時株主総会より)

独立した諮問委員会の設置に関する継続検討

SDGsへの取組み

当社は、中期経営計画の基本方針に掲げるとおり、SDGsの達成に貢献する活動を積極的に実施してまいります。

<取組みの例>

当社は、1979年に樹脂の使用効率を高めるマルチプランジャー方式を開発し、樹脂の廃棄量を大幅に削減したほか、樹脂効率100%(廃棄量ゼロ)を達成する独自のコンプレッション方式を開発するなど、創業時から環境への負荷が少ない製品開発を行っております。

特に事業との関連性が高い以下の項目について、重点的に貢献してまいります。













<ご参考>【TOWAとSDGs】https://www.towajapan.co.jp/jp/company/sdgs/

【主な取り組み】https://www.towajapan.co.jp/jp/company/sdgs/sdgsinitiatives/



世界のモールドプロセスをTOWAに!!



TOWA10年ビジョン

ものづくり企業の真価に挑む

《本資料に関するお問合せ》TOWA株式会社 企画部

〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地 Tel: 075-692-0251

本資料には当社グループの計画や方針、財務、技術、製品、サービス、業績等に係る将来予想に関する記述が含まれております。将来予想に関する記述は、あくまで当社グループが現時点において入手可能なデータや仮定、方法等に基づき、当社グループが判断したものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。また、新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。したがいまして、本資料に含まれる将来に関する記述は、実際の結果とは大きく異なる可能性があることをあらかじめご了承願います。

